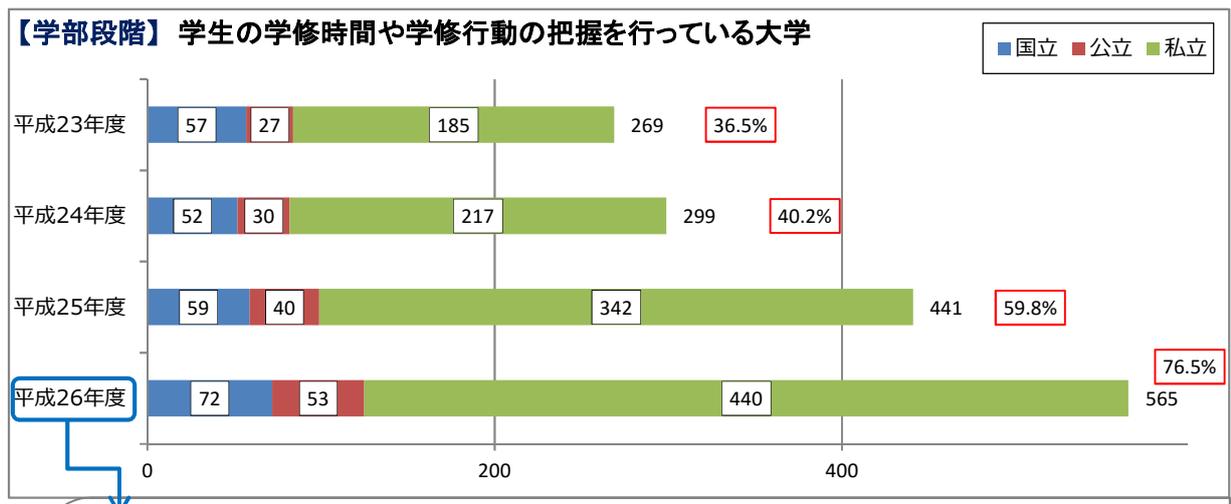


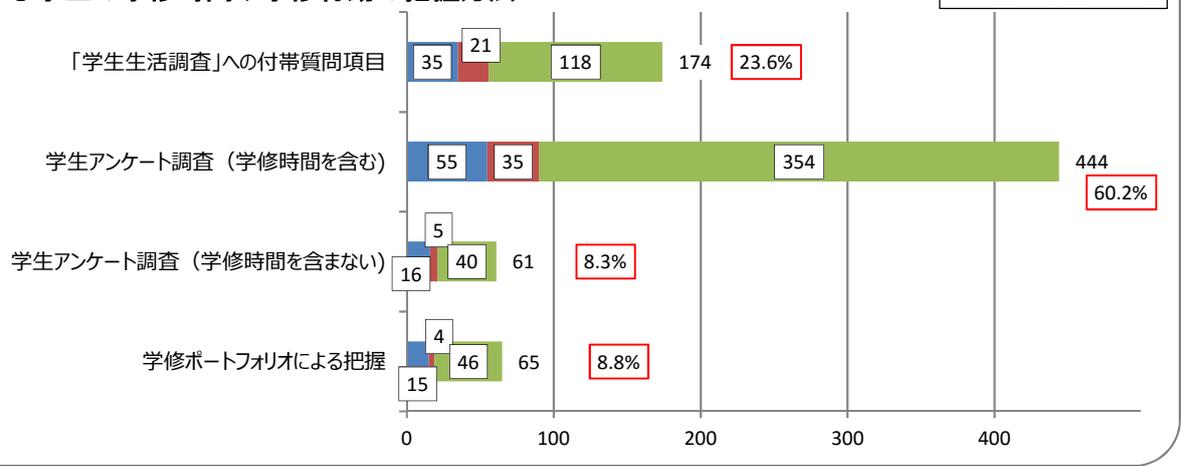
<学生の学修時間・学修行動の把握>

参考

○学生の学修時間や学修行動の把握を行っている大学

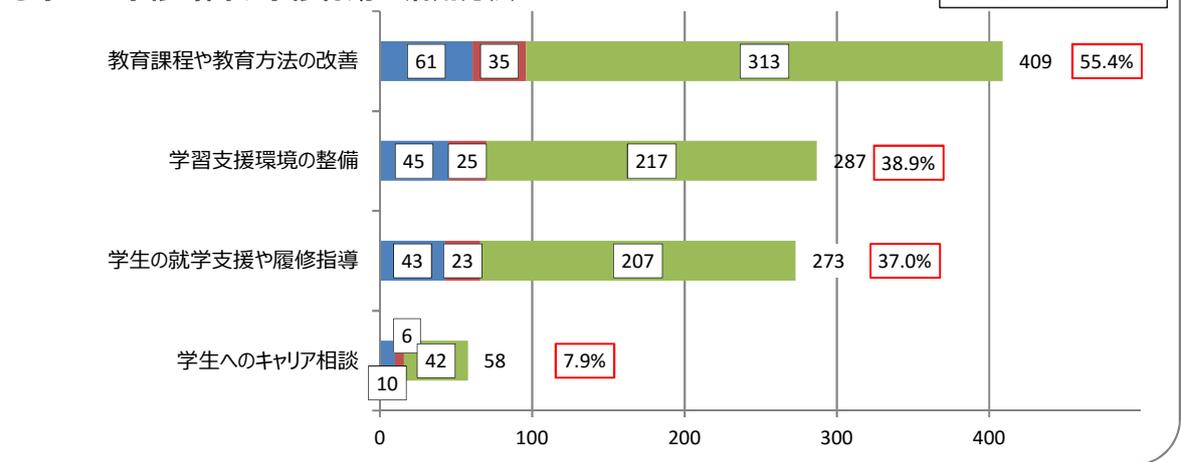


○学生の学修時間や学修行動の把握方法



(※)大学院のみを設置する大学は母数に含めない。

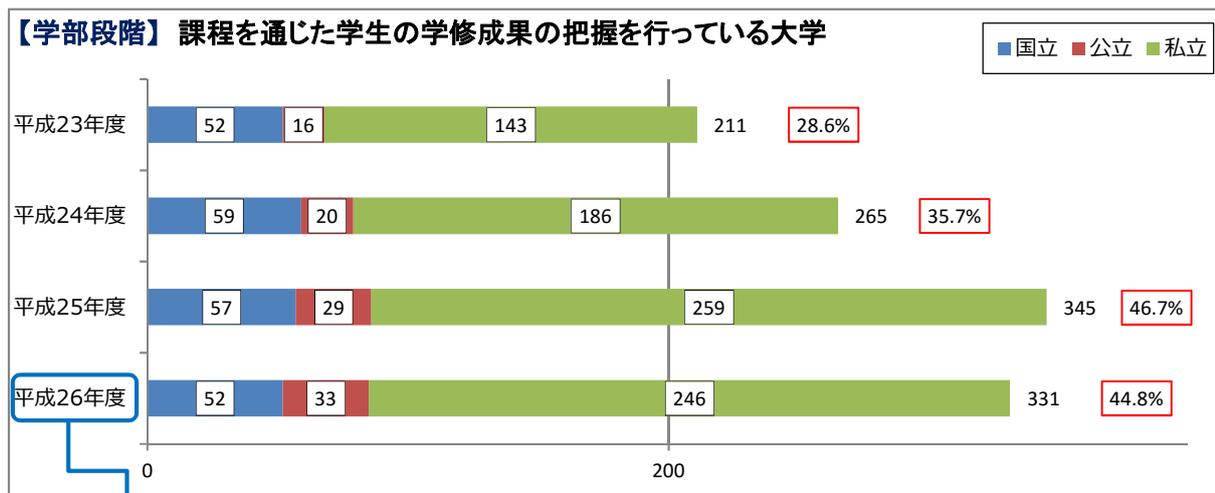
○学生の学修時間や学修行動の活用方法



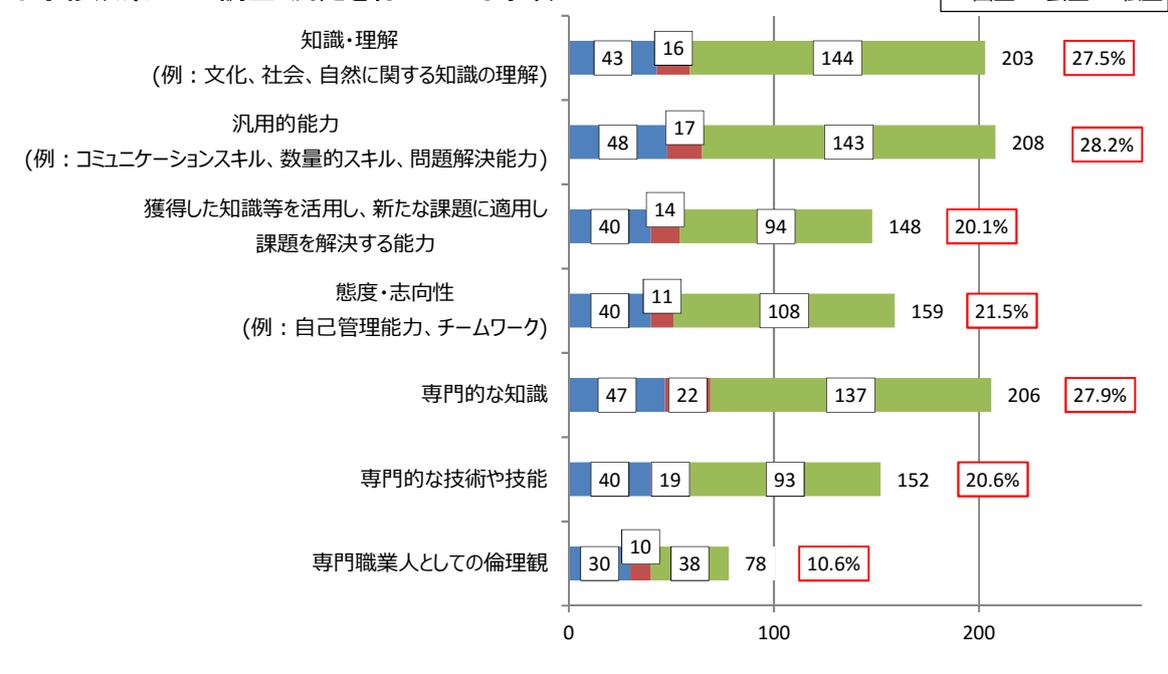
(※)大学院のみを設置する大学は母数に含めない。

<学生の学修成果の把握>

○課程を通じた学生の学修成果の把握状況



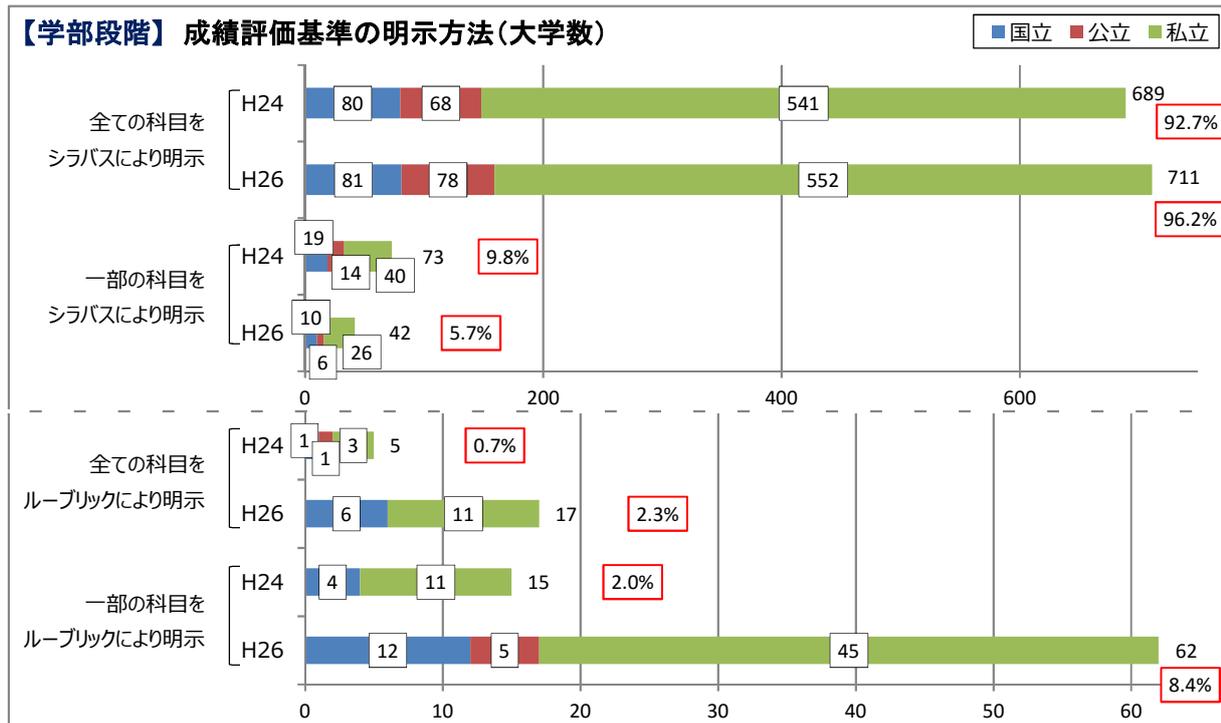
○学修成果として調査・測定を行っている事項



(※) 大学院のみを設置する大学は母数に含めない。

<成績評価の状況>

○成績評価基準の明示



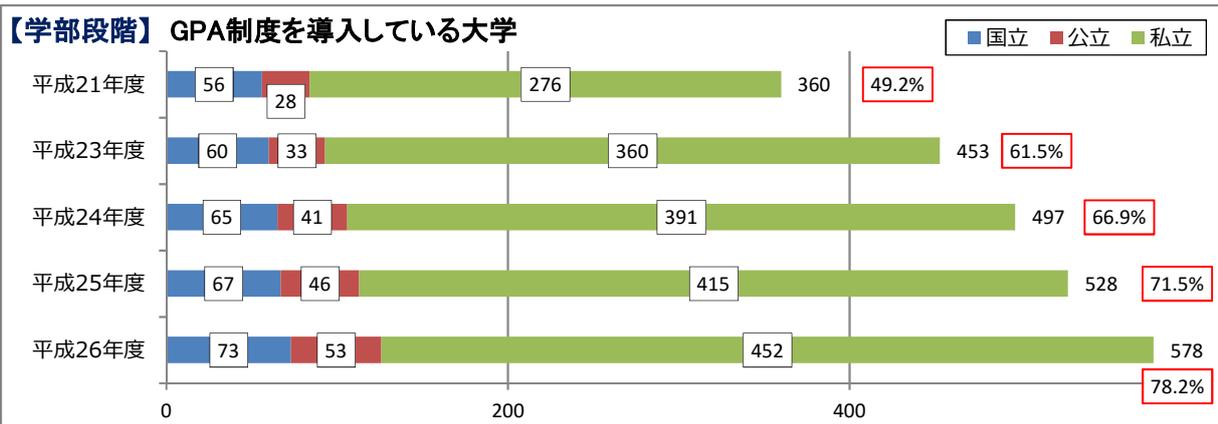
(※)大学院のみを設置する大学は母数に含めない。

ルーブリック:

米国で開発された学修評価の基準の作成方法。評価水準である「尺度」と、尺度を満たした場合の「特徴の記述」で構成される。記述により達成水準等が明確化されることにより、他の手段では困難なパフォーマンス等の定性的な評価に向くとされ、評価者・被評価者の認識の共有、複数の評価者による評価の標準化等のメリットがあるとされている。ルーブリックは、コースや授業科目、課題(レポート)等の単位で設定することができ、国内においても、個別の授業科目における成績評価等で活用されている。

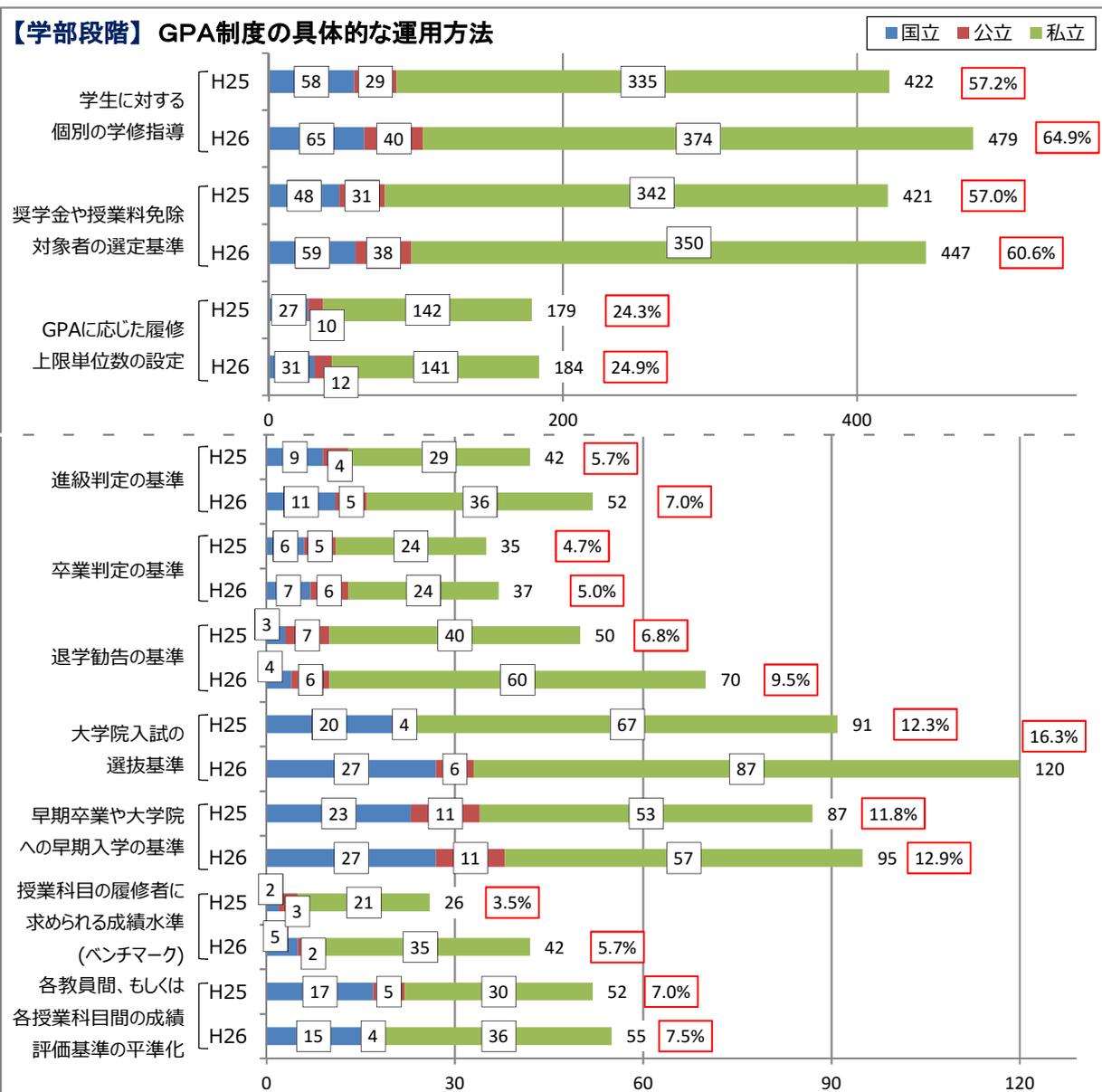
OGPA制度の活用

平成26年度においては、「GPA制度」は、学部段階で578大学(約78%)が導入されており、その内、学部全体で導入しているのは553大学(約75%)となっている。



(※) 大学院のみを設置する大学は母数に含めない。

(注) 平成22年度実績調査は、東日本大震災の影響を考慮し、実施していない。



(※) 大学院のみを設置する大学は母数に含めない。

GPA制度:

授業科目ごとの成績評価を、例えば5段階(A、B、C、D、E)で評価し、それぞれに対して、4、3、2、1、0のように数値(グレード・ポイント:GP)を付与し、この単位あたりの平均(グレード・ポイント・アベレージ:GPA)を出して、その一定水準を卒業等の要件とする制度。

現在、社会において求められる人材は高度化・多様化しており、大学は待ったなしで改革に取り組み、若者の能力を最大限に伸ばし、社会の期待に応えるため、これまで以上に教育内容を充実させ、学生が徹底して学ぶことのできる環境を整備する必要があり、これまでのGP事業等により実施された教育改革に関する実績を踏まえた上で、我が国の高等教育に共通の課題に対して取り組む大学を支援することにより、大学教育の質的転換の加速を促し、大学の人材養成機能の抜本的強化を推進

➡ 高等学校や社会との円滑な接続の下、3つの方針(「卒業認定・学位授与の方針」(ディプロマ・ポリシー)、「教育課程編成・実施の方針」(カリキュラム・ポリシー)、「入学者受入れの方針」(アドミッション・ポリシー))に基づき、入口から出口まで質保証の伴った大学教育を推進

●:テーマ別幹事校

テーマⅠ:アクティブ・ラーニング(9件)

学生の能動的な活動を取り入れた教授・学習法の実施により、認知的、倫理的、社会的な能力、教養、知識、経験を含めた汎用的能力の育成を図る取組(課題解決型学習やディスカッション、グループワーク等の双方向型授業の実施 等)

- 徳島大学
- 県立広島大学
- 立正大学
- 京都光華女子大学
- 徳山大学
- 福岡工業大学
- 崇城大学
- 仙台高等専門学校
- 明石工業高等専門学校

テーマⅢ:高大接続(5件)

高校関係者と大学関係者との間で互いの教育目標や教育内容、方法について相互理解を図ること等により、高校教育と大学教育の連携を強力に進める取組(アドバンス・ブレインメントや初年次教育の実施 等)

- 千葉大学
- 東京農工大学
- 愛媛大学
- 三重県立看護大学
- 杏林大学

テーマⅡ:学修成果の可視化(8件)

各種指標を用いて学修成果の可視化を行い、その結果を基に教育内容・方法等の改善を行う取組(学修ポートフォリオの構築、アセスメント・テストの実施 等)

- 横浜国立大学
- 北九州市立大学
- 八戸工業大学
- 東京女子大学
- 新潟工科大学
- 福岡歯科大学
- 富山短期大学
- 阿南工業高等専門学校

テーマⅣ:長期学外学修プログラム(ギャップイヤー)(12件)

入学直後等に、1か月以上の長期の「学外学修プログラム」を開発・実施する大学のサポート体制整備を行う取組(学事暦の見直し等による長期インターンシップ、ボランティア、フィールドワークの実施 等)

- 小樽商科大学
- 新潟大学
- 神戸大学
- 福岡女子大学
- 工学院大学
- 津田塾大学
- 文化学園大学
- 武蔵野大学
- 東京工科大学
- 浜松学院大学
- 長崎短期大学
- 宇部工業高等専門学校

テーマⅠ・テーマⅡ 複合型(21件)

- 宇都宮大学
- 金沢大学
- 山口大学
- 長崎大学
- 大阪府立大学
- 共愛学園前橋国際大学
- 芝浦工業大学
- 玉川大学
- 東京電機大学
- 東京理科大学
- 創価大学
- 産業能率大学
- 金沢工業大学
- 京都外国語大学
- 関西大学
- 関西国際大学
- 比治山大学、比治山大学短期大学部
- 宮崎国際大学
- 京都光華女子大学短期大学部
- 福岡医療短期大学
- 岐阜工業高等専門学校

テーマⅢ:入試改革(3件)

志願者の意欲・能力・適性を多面的・総合的に評価・判定する入学者選抜方法を開発・実施する取組(思考のプロセスや発想を重視した課題解決型の入試等の開発 等)

- お茶の水女子大学
- 岡山大学
- 追手門学院大学

テーマⅤ:卒業時における質保証の取組の強化(19件)

卒業段階でどれだけ力を身に付けたのかを客観的に評価する仕組みやその成果をより目に見える形で社会に提示するための効果的な手法等を開発する取組(学位プログラム内で共有できるルーブリックやディプロマ・サブメントの開発 等)

- 山形大学
- 茨城大学
- 東京外国語大学
- 高知大学
- 鹿屋体育大学
- 大阪市立大学
- 兵庫県立大学
- 千歳科学技術大学
- 東北公益文科大学
- 東日本国際大学
- 東京薬科大学
- 東京都市大学
- 日本福祉大学
- 大阪工業大学
- 日本赤十字九州国際看護大学
- 東海大学短期大学部
- 山梨学院短期大学
- 松本大学松商短期大学部
- 徳山工業高等専門学校

大学教育再生加速プログラム（AP）における指標

1. 必須指標

【テーマⅠ：アクティブ・ラーニング】

- アクティブ・ラーニングを導入した授業科目数の割合
- アクティブ・ラーニング科目のうち、必修科目数の割合
- アクティブ・ラーニングを受講する学生の割合
- 学生1人当たりアクティブ・ラーニング科目受講数
- アクティブ・ラーニングを行う専任教員数
- 学生1人当たりのアクティブ・ラーニング科目に関する授業外学修時間

【テーマⅡ：学修成果の可視化】

- 退学率
- プレースメントテストの実施率
- 授業満足度アンケートを実施している学生の割合
- 上記アンケートにおける授業満足率
- 学修行動調査の実施率
- 学修到達度調査の実施率
- 学生の授業外学修時間
- 学生の主な就職先への調査

【テーマⅢ：入試改革】

- 多様な評価尺度による入学者選抜を経た募集人員の割合
- 入学者選抜に従事する役割分担別教職員の割合（繁忙期のみ書類集計や試験官としてのみ携わる者及びアドミッションオフィサーを除く。選抜方法の検討、選抜の実施、合否判定、入試担当職員、入試方法評価・分析）
- アドミッションオフィサー数

【テーマⅣ：高大接続】

- 高校関係者との意見交換の実施数
- 高校生を対象とした大学レベルの教育機会の提供数
- 上記教育機会を経た学生の単位認定数

【テーマⅣ：長期学外学修プログラム（ギャップイヤー）】

- 長期学外学修プログラムに参加する学生の割合
- 上記プログラムを経た学生の成績評価
- 退学率
- 学生の授業外学修時間
- 進路決定の割合
- 学生が企画する活動数

【テーマⅤ：卒業時における質保証の取組の強化】

- 学生の成績評価
- 学生の授業外学修時間
- 進路決定の割合
- 事業計画に参画する教員の割合
- 質保証に関するFD・SDの参加率
- 卒業生追跡調査の実施率

2. 各大学による任意指標（例）

（1）学生の状況を示すもの

- 卒業率
- 離職率
- 留年率

（2）学生の力を示すもの

- アセスメントテスト（外部テストなど）実施率
- 成長実感（知識・能力）
- 「学生の能力獲得に係る直接指標」（ディプロマ・ポリシー達成度、アセスメントテストなど）
- TOEICスコア
- 学修成果のアセスメント実施率
- 国家試験の合格率
- アセスメントテスト成績上位者（1年⇒3年）の割合
- 学生の卒業論文の学会発表数
- 語学の必達目標の達成率

（3）大学の教育力を示すもの

- FD/SD参加率・実施回数（学修成果の可視化、教学マネジメントなど）
- インターンシップ実習先数、参加学生数

- ファカルティ・ディベロッパー数
- ラーニングコモンズの座席数、利用者数など
- 正課外プログラム数、参加学生数、関与教員数
- ポートフォリオ導入率、利用率
- ルーブリック導入率・受講学生数
- 学外実習科目数・受講者数
- e-learning 教材、授業収録システム等利用率
- IRer 数
- LMS 利用率
- PBL 科目数
- TA 等学生スタッフ数、活用科目数
- アクティブ・ラーニング教室数
- クリッカー導入率
- ティーチング・ポートフォリオ等作成者数
- ディプロマ・サプリメント等発行率、活用率
- ナンバリング導入率
- パフォーマンス評価実施率
- ベスト・ティーチャー賞授与数
- 学生リフレクション実施科目数
- 学生満足度
- 企業アンケート実施件数
- 教育支援スタッフ等の人数
- 教育実践に係る論文発表、報告等の本数
- 授業コンサルティング実施回数
- 授業公開科目数
- 授業満足度アンケートを実施している科目の割合
- 新入生アンケート実施率
- 成績評価基準の平準化科目数
- 卒業生アンケート実施率
- 卒業論文提出率
- 入学満足度
- 反転授業導入率
- 父母アンケート実施率
- GPA 以外の学修評価（到達度評価）が可視化できる科目数
- ディプロマ・ポリシーに適合する科目数
- 学外学修等に対する外部からの財政支援額
- 学修成果別の成績評価の実施割合
- 学長裁量経費予算額（教育改革）

- 教員向け授業方法アンケート回答率
- 教学用データの収集率
- 産学官連携アドバイザー数
- 授業参観提供科目数・参観教員数
- 図書館利用状況、満足度
- 正課外アクティビティを正規科目化数
- 優れたリーダーシップを持つ学生の養成数

※各大学の計画調書に基づき、文部科学省で集計・加工